

平成28年度事業報告書

1. 高齢者の保健・医療・福祉に関する調査・情報提供事業（公1）

大阪府の区域内において高齢者の保健・医療・福祉に関する調査研究を実施し、府内の介護老人保健施設の向上発展とその使命遂行を図り、もって府民福祉の増進に寄与することを目的とした事業を行った。

（1）事例発表会の開催

各施設の利用者に対する取組み事例の発表を通じて職員の資質の向上とサービスのレベルアップを図り、介護老人保健施設の取り組みの実態の理解や高齢者介護にかかる認識を深めるために行った。

①と き 7月15日（金）

ところ 大阪国際会議場グランキューブ大阪

参加人数 406名（会員406名）

特別講演 「地域包括ケアシステムにおいて求められる老健施設の機能」

講師 公益社団法人全国老人保健施設協会 会長 東 憲太郎氏

一般口演 32題

参加費 1,000円（資料、弁当代）

②学術部会

・と き 5月27日（金）

ところ ホテルアウリーナ大阪

議 題 第16回大老協懇話会（事例発表会）について

・と き 2月28日（火）

ところ ホテルアウリーナ大阪

議 題 第16回、第17回大老協懇話会（事例発表会）、第19回近畿ブロック大会（大阪）について

（2）施設運営等に関する情報提供

介護老人保健施設の利用者及び家族に役立つ情報収集に努めるとともに、その内容を整理・分析し、府内の介護施設（非会員を含む）に対し迅速な情報提供を行い、さらに、府民からの電話やFAXでの紹介や問合せに対し情報を提供した。

<情報収集の具体例>

・感染症の発生状況とその対策

<府民からの問合せに対する具体例>

・介護を必要とする家族の悩みに対するアドバイス

- ・施設を利用している方の苦情対応
- ・透析、経管栄養や在宅酸素療法の方の受け入れる施設の紹介
- ・各種講演会、セミナー等の案内
- ・対象 介護施設関係者及びその利用者等並びに情報を求める府民

<財源>

いずれも基本財産運用益、特定資産運用益、会費、参加費を財源とする。

<業務委託>

なし

2. 高齢者の保健・医療・福祉に関する情報提供及び知識の普及・啓発事業(公2)

府民を対象とした高齢者の保健・医療・福祉に関するセミナー等の実施によりその知識の普及・啓発を推進し、介護老人保健施設の向上発展とその使命遂行を図り、もって府民福祉の増進に寄与することを目的とした事業を行った。

(1) 公開セミナーの開催

府民及び市民に対し介護に関する知識の普及や意識啓発を図った。

参加費 無料

①第29回市民公開セミナー（北河内地区ブロック）

と き 11月26日（土）

ところ 寝屋川市民会館

テーマ この家で、この町で暮らしたい

～地域包括ケアの実現に向けて～

第1部 「寝屋川市の取り組みについて」

講師 寝屋川市 柴田 知成氏

「大阪らしい地域包括ケア」

講師 医療法人敬英会 理事長 光山 誠氏

「当院における地域包括ケア事業部の取り組み

- 医療・看護・介護の実情 -」

講師 医療法人協人会 副看護部長 槻館 留美氏

「システムの実行について」

講師 公益社団法人大阪介護老人保健施設協会 会長 川合秀治氏

第2部 「シンポジウム」

座長 川合 秀治氏

シンポジスト 光山 誠氏 柴田 知成氏 槻館 留美氏

参加人数 84名

②第30回市民公開セミナー（堺・泉州地区ブロック）

と き 3月18日（土）

ところ 和泉市シティプラザ

テーマ 認知症ケアと老健の役割について

講演第1部 「認知症に関する基礎知識とケアに関して」

講師 介護老人保健施設プリムラ和泉 支援相談員

田村 敬司氏

講演第2部 各専門職によるシンポジウム「各専門職の役割について」

シンポジスト

介護老人保健施設プリムラ和泉

支援相談員、介護支援専門員、理学療法士、介護職員

参加人数 40名

(2) 施設見学会と介護教室の開催

介護老人保健施設に対する府民の認識を高め、施設を正しく理解してもらうとともに、利用者側の要望等を聞くために施設見学会を開催し、併せて高齢者介護の基礎知識・技術の教室を実施した。

参加費 無料

①第24回施設見学会と介護教室（北摂地区ブロック）

とき 7月23日（土）

ところ 介護老人保健施設ラ・ポルトフィーナ高槻

施設見学 「アクアリハビリの紹介」

介護老人保健施設ラ・ポルトフィーナ高槻

介護教室 「脱水症・熱中症の正しい知識と対処法」

講師 大塚製薬株式会社 松崎 純一氏

参加人数 50名

②第25回施設見学会と介護教室（中河内・南河内地区ブロック）

とき 1月28日（土）

ところ 介護老人保健施設プレシオ

介護予防教室1

「歯磨きだけで満足していませんか？」

講師 介護老人保健施設石きり 歯科衛生士 高萩 真理氏

介護予防教室2

「趣味や外出をためらわないために考える転倒予防」

講師 リハビリ特化型デイサービスリファイン 理学療法士

福田 圭志氏

施設見学 介護老人保健施設プレシオ

参加人数 47名

(3) 介護予防教室の開催

高齢者が要介護状態になるのを防ぐため、介護保険を利用していない高齢者をも対象に介護予防教室を実施した。

参加費 無料

①第24回介護予防教室（大阪市北部地区ブロック）

とき 10月20日（木）

ところ 旭区民センター

テーマ 介護予防運動の必要性・認知症予防と運動性

講義・実技

「介護予防運動の必要性」「認知症予防と運動性について」

講師 認知症ケア専門士

大阪府理学療法士会 介護予防推進リーダー

山下 修平氏

参加人数 30名

②第25回介護予防教室（豊能地区ブロック）

とき 3月4日（土）

ところ 異病院介護老人保健施設

講演 「もっとロコモのことを知ろう～寝たきりにならないために～」

講師 堀口整形外科 院長 堀口 泰輔氏

実演 「身体を動かして体験してみよう」

講師 ロコモコーディネーター 異病院介護老人保健施設職員

施設見学 異病院介護老人保健施設

参加人数 82名

（4）ホームページの運営

介護老人保健施設に対する府民の理解と認識を高めるとともに、高齢者介護にかかる府民の意識啓発を図るためホームページの情報を随時更新するとともに掲載内容の充実に努めた。

（5）広報出版事業

機関誌「老健おおさか」を年2回、各5,200部発行し、当協会の活動内容の伝達や情報提供を行うとともに、会員施設を始め府下市町村や府医師会等の窓口を通じて、府民、市民に対し介護老人保健施設の紹介や介護に関する意識醸成を図った。

①「老健おおさか」第38号 11月末発行

②「老健おおさか」第39号 3月末発行

③広報部会

・とき 4月20日（水）

ところ ホテルアウリーナ大阪

議題 自己紹介、今年度の活動方針、「老健おおさか」第38号の編集について

・とき 8月26日（金）

ところ ホテルアウリーナ大阪

議題 「老健おおさか」第38号の校正について、その他

・とき 10月19日（水）

ところ ホテルアウリーナ大阪

議 題 「老健おおさか」第39号の編集について、その他
・と き 2月15日(水)
ところ ホテルアウヰーナ大阪
議 題 「老健おおさか」第39号の校正について、その他
購読料 無料

<財源>

いずれも基本財産運用益、特定資産運用益、会費、参加費を財源とする。

<業務委託>

委託先 デイム

内容 ホームページの機能全般のリニューアル作業

3. 介護老人保健施設関係者等に対する研修・講演会事業(公3)

高齢者介護に関する知識・技術の向上を図るため、介護従事者及び関係者等を対象に研修・講演会を行い、介護老人保健施設等の向上発展とその使命遂行を図り、もって介護老人保健施設等を利用する不特定多数の高齢者及び家族の福祉の増進に寄与するための事業を行った。

(1) 介護老人保健施設関係者等に対する研修(施設関係者向け)の実施

施設職員の幅広い知識の習得と資質のレベルアップにより利用者やその家族に対するケアの改善を図るため、職種別にキメ細かい研修を行った。

対象者 介護老人保健施設関係者等

参加費 会員施設職員無料、会員施設職員外1,000円(資料代として)

①介護老人保健施設の会計・経理、人事労務管理等セミナー

と き 5月23日(月)

ところ キャノンマーケティングジャパン(株)

講 習 「平成28年度介護老人保健施設の会計と経理について」

講師 蒼龍会介護老人保健施設ひまわり 事務長 飯島 滋弥氏

「キャノンマーケティングジャパンが考える課題と対応策」

「個別機能訓練システムの紹介」

お知らせ「省エネ診断について」

講師 大阪府環境農林水産部エネルギー政策課 副主査

井戸川 佳代氏

「事例から学ぶ電気料金削減の取り組み」

講師 キャノンマーケティングジャパン株式会社 山本 誠氏

参加人数 25名(会員25名)

②組織力活性化研修会

と き 7月8日(金)

ところ ホテルアウヰーナ大阪

講義・グループワーク

「モチベーション向上、コミュニケーション力向上」

講師 インターリスク総研事業リスクマネジメント部

事業継続マネジメントグループ 齋藤 顕是氏

参加人数 48名（会員45名 非会員3名）

③リスクマネジメントに関する研修会

と き 10月18日（火）

ところ ホテルアウヰーナ大阪

講義・演習 「リスクマネジメント」

講師 介護老人保健施設ひむか苑 施設長 櫛橋 弘喜氏

参加人数 98名（会員91名 非会員7名）

④ICF ステージングを活用したケアの質の向上を目指す研修会（R4システム）

と き 12月9日（金）

ところ ホテルアウヰーナ大阪

講義・演習

「ICF ステージングで正しく評価し、ケアの質をあげよう

～R4を使いこなして地域包括ケアの中核施設として生き残ろう～」

講師 介護老人保健施設紀伊の里 施設長 山野 雅弘氏

参加人数 21名（会員21名）

⑤大阪府キャラバン・メイト養成研修会

と き 2月17日（金）

ところ ホテルアウヰーナ大阪

講 義 「認知症サポーターに伝えたいこと～認知症を理解する～」

講師 公益財団法人浅香山病院 理事長 高橋 明氏

講義・グループワーク

「キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際」

講師 みどりヶ丘介護老人保健施設 村上 宏三氏

参加人数 104名（会員31名 非会員73名）

⑥腰痛予防対策（ノーリフト）研修会

と き 3月6日（月）

ところ ホテルアウヰーナ大阪

講義・演習

「持ち上げない看護・抱え上げない介護

～ケアの質を向上させる腰痛予防対策～」

講師 一般社団法人日本ノーリフト協会 代表 保田 淳子氏

参加人数 48名（会員43名 非会員5名）

⑦老健で働く医師の会おおさか

と き 5月27日（金）

ところ ホテルアウヰーナ大阪

テーマ 内服薬の高騰、利用者の閉塞性静脈硬化症の増加（繰り返すステント留置のための入院）、認知症・パーキンソン病の施設内医療保険診療

の継続、医療機関との連携について

参加人数 21名（会員21名）

⑧研修部会

・とき 11月16日（水）

ところ ホテルアウリーナ大阪

議題 組織力活性化研修会、認知症介護実践者研修、リスクマネジメント研修会、ICF ステージングを活用したケアの質の向上を目指す研修会、大阪府キャラバン・メイト養成研修、3月の研修会、29年度の活動計画について

・とき 3月15日（水）

ところ ホテルアウリーナ大阪

議題 研修会を終えて、平成28年度研修会の総評、平成29年度の活動計画、その他

(2) 認知症介護実践研修（実践者研修）の実施

大阪府の指定により、府下高齢者介護実務者等を対象とし、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成して介護サービスの充実を図る研修を行った。

対象者 高齢者介護実務者等

参加費 30,000円（資料をお持ちでない方は別途資料代として、テキスト代2,376円+送料300円）

①講義・演習 5月24日（火）、25日（水）30日（月）、31日（火）、6月6日（月）、9日（木）、29日（水）、7月12日（火）
ホテルアウリーナ大阪

自施設実習 6月10日（金）～7月11日（月）

参加人数 94名

②講義・演習 11月1日（火）、4日（金）、8日（火）、9日（水）、15日（火）
18日（金）、12月5日（月）、22日（木）
ホテルアウリーナ大阪

自施設実習 11月19日（土）～12月21日（水）

参加人数 48名

③検討会議

・とき 6月29日（水）

ところ ホテルアウリーナ大阪

議題 実習課題の設定、実習結果報告について

・とき 7月12日（火）

ところ ホテルアウリーナ大阪

議題 実習結果報告、全体の反省事項、執行部連絡事項、第2回認知症介護実践者研修について

・とき 9月30日（金）

- ところ ホテルアウヰーナ大阪
 - 議 題 カリキュラム、第1回研修反省会事項、執行部連絡事項について
- ・と き 12月5日(月)
- ところ ホテルアウヰーナ大阪
 - 議 題 実習課題の設定、経過報告、7日目までの振り返り、平成29年度新カリキュラムについて
- ・と き 12月22日(木)
- ところ ホテルアウヰーナ大阪
 - 議 題 研修後アンケート、実習結果報告、研修データの取り扱いについて
- ・と き 3月17日(金)
- ところ 当協会事務所
 - 議 題 次年度指導者連絡会、平成29年度第1回講義担当者、ファシリテーター、時間配分、募集要項、研修資料(冊子)について、その他

(3) 講演会の実施

施設職員に対し幅広い知識の習得による資質のレベルアップにより施設利用者やその家族の処遇改善を図るため講演会を行った。

①口腔ケアに関する講演会

- と き 4月20日(水)
- ところ ホテルアウヰーナ大阪
- 講 演 「老健の経口維持と歯科衛生士との関わり」
- 講 師 公益社団法人大阪府歯科衛生士会
訪問口腔ケア委員会 委員長 金子 信子氏

参加人数 99名(会員99名)

参加費 無料

②社員総会特別講演会(支援相談員に関する講演会)

- と き 6月8日(水)
- ところ ホテルアウヰーナ大阪
- 講 演 「地域包括ケアにおける支援相談員の活動と実際
～在宅復帰支援における意義と課題(稼働安定・加算算定等)」
- 講 師 介護老人保健施設せんだんの丘 統括部長 加藤 誠氏

参加人数 99名(会員96名 会員外3名)

参加費 無料

③感染症に関する講演会

- と き 10月19日(水)
- ところ ホテルアウヰーナ大阪
- 講 演 「老健施設における感染症について」
- 講 師 大阪府医療監 福島 俊也氏

参加人数 83名(会員81名 会員外2名)

参加費 無料

④人材対策に関する講演会

と き 12月21日(水)

ところ ホテルアウヰーナ大阪

講 演 「外国人介護人材の受入れについて

～ベトナムハノイ視察(10/2～6)報告～」

講師 全国老人保健施設協会人材対策委員会人材制度部会委員

大阪介護老人保健施設協会人材対策・福利厚生部会長

介護老人保健施設つるまち・さくらがわ 理事長

光山 誠氏

参加人数 79名(会員79名)

参加費 無料

⑤認知症に関する講演会

と き 1月24日(火)

ところ ホテルアウヰーナ大阪

特別講演 「認知症の家族の立場(想い)を語る」

講師 飛梅の会 代表 越智 須美子氏

参加人数 92名(会員86名 非会員6名)

参加費 無料

⑥事故防止対策に関する講演会

と き 2月15日(水)

ところ ホテルアウヰーナ大阪

講 演 「介護施設のリスクマネジメント～施設安全の現状と課題～」

講師 SOMPOリスケアマネジメント株式会社

医療リスクマネジメント事業部 大賀 祐典氏

参加人数 145名(会員143名 会員外2名)

⑦社員総会特別講演会(人権に関する講演会)

と き 3月15日(水)

ところ ホテルアウヰーナ大阪

講 演 「アンガーマネジメントって何!

～怒りをコントロールする“怒らない伝え方”～」

講師 特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会

キャリアコンサルタント 山本 昌幸氏

参加人数 80名(会員78名 会員外2名)

参加費 無料

⑧認知症対策部会

と き 9月21日(水)

ところ ホテルアウヰーナ大阪

議 題 自己紹介、平成28年度認知症に関する講演会について

<財源>

いずれも基本財産運用益、特定資産運用益、会費、参加費を財源とする。

<業務委託>

なし

4. 関係機関及び関係団体との連絡協議に関する事業(他1)

高齢者に関する諸問題について、関係機関及び関係団体と調査・協議することにより、施設における諸問題の解決や介護の質の向上に努め、介護老人保健施設の向上発展とその使命遂行を図った。

(1) 近畿ブロック代表者会議への参加

近畿各支部間の問題点を持ち寄り、解決法についての調査研究を行い、全国老人保健施設協会への意見具申を行った。

①近畿ブロック代表者会議

・とき 4月28日(木)

ところ ホテルアウヰーナ大阪

議題 全老健近畿ブロック長の推薦、近畿ブロック推薦理事候補者、平成27年度事業報告及び収支報告、第27回全国介護老人保健施設大会大阪、第17回介護老人保健施設近畿ブロック大会兵庫について、その他

負担金 10,000円

②近畿ブロック代表者会事務局長会議

・とき 9月14日(水)

ところ リーガロイヤルホテル

議題 第17回介護老人保健施設近畿ブロック大会兵庫、第27回全国介護老人保健施設大会大阪について

負担金 12,000円

・とき 11月24日(木)

ところ 神戸芸術センター

議題 第17回介護老人保健施設近畿ブロック大会兵庫、第18回介護老人保健施設近畿ブロック大会奈良、第27回全国介護老人保健施設大会大阪報告

負担金 12,000円

(2) 近畿ブロック大会の参加・協力

兵庫県が運営担当の「近畿ブロック大会」参加・協力した。

第17回介護老人保健施設近畿ブロック大会兵庫

とき 11月25日(金)

ところ 神戸芸術センター

大会テーマ「地域包括ケアの中心！老健の魅力！」

基調講演 「老健の質のマネジメント」

講師 公益社団法人全国老人保健施設協会 常務理事
介護老人保健施設竜間之郷 施設長 大河内 二郎氏
特別講演 「アクティブな老人介護・おだやかなターミナルケア」
講師 シンガーソングドクター&アスリート 福田 六花氏
一般口演 12題
参加人数 大阪府116名(全体783名))
参加費 3,000円(昼食代含む)

(3) 全老健事業への参加・協力

全国老人保健施設大会並びに全国老人保健施設職員研修会等への参加・協力を
行った。

①平成28年度介護老人保健施設の会計・経理に関する研修会

と き 4月14日(木)

ところ TOC有明

②第1回社員総会

と き 6月30日(木)

ところ TKP ガーデンシティ品川

③平成28年度支部長会

と き 9月14日(水)

ところ リーガロイヤルホテル

④第27回全国介護老人保健施設大会大阪

と き 9月14日(水)～16日(金)

ところ 大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル

⑤平成28年度支部事務担当者会議

と き 1月27日(金)

ところ WTC コンファレンスセンター

⑥第1回臨時社員総会

と き 3月10日(金)

ところ TKP ガーデンシティ品川

⑦各種職員研修会、講演会

⑧常設委員会

⑨調査・研究事業

参加費 各研修会等により異なる

(4) その他関連事業への参加・協力

講演会及び研修会等への参加・協力を行った。

①大阪府地域医療推進協議会

②NPO法人リズム体操研究会

③ハンセン病問題講演会実行委員会

④株式会社全老健共済会

- ⑤社会福祉法人大阪府社会福祉協議会
- ⑥一般社団法人大阪府医師会
- ⑦大阪府介護保険福祉連絡会なにわ会
- ⑧メディカルジャパン2017
- ⑨一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会
- ⑩日本クリニカルパス学会学術集会
- ⑪一般財団法人国際医学情報センター
- ⑫大阪府
- ⑬大阪市
- ⑭堺市
- ⑮寝屋川市
- ⑯大阪労働局

(5) 調査研究に対する協力

- ①平成28年度最低賃金に関する基礎調査

(6) 厚生労働大臣表彰

- と き 9月15日(木)
- ところ 大阪国際会議場
- 表彰者 7名

(7) 大阪府知事表彰

- と き 11月16日(水)
- ところ 大阪国際交流センター
- 表彰者 5名

(8) 全老健会長表彰

- と き 9月15日(木)
- ところ 大阪国際会議場
- 表彰者 10名
- 表彰施設 5施設

<財源>

参加費を財源としており、不足分については会費において補っている。

<業務委託>

なし

5. 会員を対象とした施設研修事業(他2)

施設の職員の資質の向上を図るため、他地域の特色ある施設見学を行った。

①視察研修

- ・と き 10月2日(日)～6日(木)

- ところ ベトナム
- 参加人数 10名
- 参加費 1人110,000円
- ・とき 2月24日(金)～25日(土)
- ところ 介護老人保健施設青い空の郷
- 参加人数 25名
- 参加費 1施設 1人10,000円 1人追加ごと30,000円

②福利厚生部会

- ・とき 6月8日(水)
- ところ ホテルアウィーナ大阪
- 議題 自己紹介、海外・国内視察行程について

<財源>

参加費を財源としており、不足分については会費において補っている。

<業務委託>

なし

6. 地区ブロック会議活動の促進(他3)

地域福祉に密着し、市民公開セミナー等の企画や立案のための調査研究を行っているブロック活動を促進し、情報交換等の活発化を図り、もって市民の福祉増進に寄与する目的事業を行った。

<財源>

会費を財源としている。

<業務委託>

なし

7. その他、本協会の目的を達成するために必要な事業

(1) 社員総会

- ①とき 6月8日(水) 123名出席 会議成立
- ところ ホテルアウィーナ大阪
- 議案 平成28年度収支予算補正予算(案)、平成27年度収支決算(案)の件(平成27年度事業報告含む)、理事の辞任に伴う補欠理事の選任(案)の件 原案承認
- ②とき 3月15日(水) 17名出席
- ところ ホテルアウィーナ大阪
- 報告事項 平成29年度事業計画、収支予算及び平成29年度資金調達及び設備投資の見込みについて、常設委員会、特別委員会の委員長、副委員長及び部会長選任の件 承諾

(2) 理事会

- ①とき 5月18日(水) 10名出席 会議成立
- ところ ホテルアウィーナ大阪

- 議案 平成28年度収支予算補正予算(案)、平成27年度事業報告(案)、平成27年度収支決算(案)、大阪府知事への提出書面(案)、理事の辞任に伴う補欠理事の選任(案)の件 原案可決
- ②と き 2月28日(火) 10名出席 会議成立
 ところ ホテルアウヰーナ大阪
- 議案 平成29年度事業計画(案)、平成29年度収支予算(案)及び平成29年度資金調達及び設備投資の見込みについて、常設委員会、特別委員会の委員長、副委員長及び部会長選任(案)、賛助会員入会承認(案)の件 原案可決

(3) 例会

- ①と き 4月20日(水) 99名出席
 ところ ホテルアウヰーナ大阪
 議題 大阪府転入職員紹介・実地指導、中央情勢、介護老人保健施設の会計・経理等について(キャノンコラボセミナー)、第16回大老協懇話会(事例発表会)について
- ②と き 10月19日(水) 81名出席
 ところ ホテルアウヰーナ大阪
 議題 第27回全国介護老人保健施設大会大阪、海外視察研修旅行、中央情勢、永年勤続職員表彰、リスクマネジメントに関する研修会、認知症に関する講演会、第17回介護老人保健施設近畿ブロック大会兵庫について
- ③と き 12月21日(水) 78名出席
 ところ ホテルアウヰーナ大阪
 議題 第27回全国介護老人保健施設大会大阪、中央情勢、平成29年新年互礼会・永年勤続職員表彰式、ICF ステージングを活用したケアの質の向上を目指す研修会、大阪府キャラバン・メイト養成研修会、認知症に関する講演会、視察研修、第17回介護老人保健施設近畿ブロック大会兵庫、被災地支援について
- ④と き 2月15日(水) 142名出席
 ところ ホテルアウヰーナ大阪
 議題 中央情勢、第27回全国介護老人保健施設大会大阪の当日事務作業費認知症に関する講演会、大阪府キャラバン・メイト養成研修会、腰痛予防対策(ノーリフト)研修会、実地指導での指摘事項等について、大阪府育英会寄付金募集について

(4) 正副委員長・部会長会議

- ①と き 4月20日(水)
 ところ ホテルアウヰーナ大阪
 議題 中央情勢、年間スケジュール、ブロック長及び担当事業、第16回大

老協懇話会（事例発表会）、介護老人保健施設の会計・経理等について
（キャノンコラボセミナー）、人材育成、大阪府より

- ②と き 5月18日（水）ホテルアウリーナ大阪
ところ ホテルアウリーナ大阪
議 題 平成28年度収支予算補正予算（案）、平成27年度事業報告（案）・
収支決算（案）、理事の辞任に伴う補欠理事の選任（案）について
- ③と き 10月19日（水）
ところ ホテルアウリーナ大阪
議 題 中央情勢、海外視察研修（人材対策）、リスクマネジメントに関する研
修会、認知症に関する講演会、平成29年新年互礼会・永年勤続職員
表彰について
- ④と き 12月21日（水）
ところ ホテルアウリーナ大阪
議 題 中央情勢、平成29年新年互礼会・永年勤続職員表彰式、ICF ステ
ージングを活用したケアの質の向上を目指す研修会、キャラバン・メイ
ト養成研修会、認知症に関する講演会、機関誌老健おおさか第39号、
視察研修、第17回介護老人保健施設近畿ブロック大会兵庫、大老協
役員及び常設委員会及び特別委員会、被災地支援、全国大会について
- ⑤と き 2月15日（水）
ところ ホテルアウリーナ大阪
議 題 平成29年度事業計画（案）、平成29年度収支予算（案）、常設委
員会、特別委員会の委員長、副委員長及び部会長選任（案）、役員改
選、中央情勢、第27回全国介護老人保健施設大会大阪の当日事務作
業費、認知症に関する講演会、大阪府認知症キャラバン・メイト養成
研修、腰痛予防対策（ノーリフト）研修会、大阪府育英会寄付金募集に
ついて

（5）正副委員長・部会長・ブロック長合同会議

- ①と き 5月18日（水）
ところ ホテルアウリーナ大阪
議 題 組織力活性化研修会、機関紙「老健おおさか」第38号、大老協懇話
会（事例発表）、各ブロックの平成27年度事業実施報告及び平成28
年度事業実施計画、第27回全国介護老人保健施設大会大阪について
- ②と き 7月20日（水）
ところ ホテルアウリーナ大阪
議 題 組織力活性化研修会、第16回大老協懇話会（事例発表会）、各ブロッ
クの事業実施報告について
- ④と き 9月21日（水）
ところ ホテルアウリーナ大阪
議 題 中央情勢、リスクマネジメントに関する研修会、第17回介護老人保

健施設近畿ブロック大会兵庫、機関誌「老健おおさか第39号」、永年勤続職員表彰、介護施設等労務管理講習会、各ブロックの活動報告について

- ⑤と き 11月16日(水)
ところ ホテルアウヰーナ大阪
議 題 中央情勢、大阪府予算要求事業(案)、ICF ステージングを活用したケアの質の向上を目指す研修会、認知症に関する講演会、機関誌老健おおさか第39号、新年互礼会、永年勤続職員表彰、各ブロックの活動報告について

(6) 運営部会

- ①と き 5月12日(木)
ところ ホテルアウヰーナ大阪
議 題 平成28年度収支予算補正予算(案)、平成27年度事業報告(案)収支決算(案)、理事の辞任に伴う補欠理事の選任(案)の件について
- ②と き 2月9日(木)
ところ ホテルアウヰーナ大阪
議 題 平成29年度事業計画(案)・収支予算(案)について

(7) 永年勤続職員の表彰

- と き 1月6日(金)
ところ 天王寺都ホテル
- | | | |
|-----|----------|------|
| 表彰者 | 20年勤続表彰者 | 29名 |
| | 15年勤続表彰者 | 114名 |
| | 10年勤続表彰者 | 269名 |

(8) 新年互礼会の開催

- と き 1月6日(金) 208名
ところ 天王寺都ホテル

(9) 新規会員の加入促進

新規会員の加入の促進に努めた。この結果正会員に1施設の新規加入があった。